



地元では皆様の声を



1年の始まりは旗開きから 確定申告の現場に激励へ 裸祭りに参戦です 国政報告会で日頃の活動報告



日頃の活動をご報告 スポーツの秋 ダンススポーツ競技会 赤松代議士のパーティーでご挨拶 4月は各種団体の総会にてご挨拶



働く仲間との意見交換会 地元の方から要望書を預かりました 天皇陛下ご臨席の下での植樹祭



組合の定期大会シーズンです 斎友会の忘年会で皆さんと懇親 母校の70周年記念行事 仲間の議員とともに地元要請へ



パーティーを開催 司法書士会との意見交換をさせていただきました 地元でお茶をいただきました 夏はやっぱり盆踊り



立浪和義さんにご参加いただきました 晴天の下ソフトボール大会 現場で生の声をお聞きしました 豚コレラ対策で東海農政局へ

よしたかの
独り言

12月初めアフガニスタン東部で日本人医師の中村哲さんが銃撃され、尊い命を落とされたという悲報が伝えられました。中村先生は、最も世界で尊敬を集める日本人の一人です。私も先生の活動に深く感銘を受けてきました。30年以上にわたりパキスタンとアフガニスタンで活動を続け、紛争が続く地域において、命がけで医療活動や干ばつ対策のための井戸や水路づくりを汗を流しました。こんな生き方は私には到底できません。現在、アフガニスタン東部では砂漠の灌漑が成功し、65万人がその恩恵を受けているとも言われています。

テロ特措法改正案の国会審議にも参考人としておいでになり、自衛隊の派遣の危険性を訴えました。改めて議事録を読み返すと「武力行使では永遠にテロはなくなりません。貧困の撲滅こそが早道」「親日のアフガンにおいても米国追従の日本の姿勢が知れ渡り、身辺に危険を感じるようになってきた」などの発言が目を引きま。

こんな人生が凶弾によって絶たれる理不尽さをやるせなく思います。しかし、その澄み切った生き様は多くの人々の心に残るでしょう。

斎藤嘉隆事務所
のご案内

〒454-0976
名古屋市中川区服部3-507

TEL:052-439-0550
FAX:052-439-0560

HPアドレス:saitoyoshitaka.com
E-mail:saito@saitoyoshitaka.com

Vol.27

斎藤嘉隆

サイスポ

2020年 新年号

新年あけましておめでとござります！

愛知県選挙区、参議院議員の斎藤嘉隆です。国会にお送りいただいたから10回目の新年を迎えることができました。ご支援いただく皆様のおかげです。心から感謝いたします。

先般の臨時国会では総理主催の「桜を見る会」の運営が大きな問題となりました。本来、権力を持つ者はその行使に抑制的であるべきです。しかし、安倍政権をみると、権力を使っている「お友達」を優遇する、都合の悪いデータは隠す、改ざんする、捨てるなどまさに国民無視のやりたい放題。それらの典型的な例として「森友・加計問題」や「桜を見る会」があるのではないのでしょうか。長期政権の弊害そのものです。

私たち国会議員の重要な役割のひとつに「行政の監視が挙げられます。内閣政府が法律や予算の定めを守り、適切に行政としての務めを果たしているか、税を原資とした国予算が正しく執行されているか、国民の代表として監視する役割です。この役割を引き続きしっかりと果たしていかなければなりません。

政権のタガが緩む最大の要因は、私たち野党のだらしないさにあると思います。今年には解散総選挙の可能性も高い年です。国民の皆様への選別となるよう、明日の日本のあるべき姿を政策・ビジョンとして明確に示したうえで一致結束して臨むことが必要です。

私は引き続き、まじめにひたむきにをモットーに、国民目線での政治を貫きます。特に「子どもたちの未来」がどうあるべきかを自問しながら活動を続けてまいります。引き続きのご指導・ご鞭撻を切にお願いし、新年にあたってのご挨拶いたします。

参議院議員
斎藤嘉隆

教育の充実 「先生の働き方改革」から

「給特法改正案」で本会議代表質問



11月に「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案」、いわゆる「給特法改正案」について斎藤議員が本会議代表質問に立ちました。

この法律は、教職員の勤務時間を年単位で調整する「変形労働時間制」の導入と、業務量を管理するために指針を策定し、時間外勤務を月45時間、年360時間までとするという上限ガイドラインの遵守を図ることを柱とするものです。

変形労働時間制は、学期はじまりや運動会などがある秋口などの忙しい時期に勤務時間を延長し、夏休み期間中などに休日をもとめて取得できるようにするものです。しかし、これは扱い方次第ではさらなる長時間労働の原因にもなりかねません。上限ガイドラインの策定については、教職員の長時間勤務解消に向けた前進であることは評価できますが、ほとんどの残業を「自発的残業」としてしまいう給特法が残されたままであり、業務量が削減されない中では持ち帰り残業などがかえって増える懸念があります。学校における働き方改革をすすめるためには、単なる制度見直しではなく、抜本的な教員定数の充実と業務の見直しが必要なことを訴え、大臣の見解をただしました。



真の大学無償化へ

「大学無償化法律案」で本会議代表質問

5月に、「大学等における修学の支援に関する法律案」が成立しました。この法案の審議の冒頭から斎藤議員が会派を代表して本会議での質問に立ちました。

「大学修学支援法案」は、10月からの消費税率10%引き上げを前提に、7600億円の巨費を投じて、住民税非課税世帯とそれに準じる世帯の学生を対象に、大学や短大などの授業料と入学金を減免、生活費として返済が不要な給付型奨学金の拡充をするものです。

今回の制度の対象者は、最大で全学生の2割弱であり、この法案が成立すれば多くの大学が現在行っている授業料の減免措置が新制度に吸収され、既存の支援がなくなり、負担増になる恐れがあります。

また、これまでの貸与型奨学金制度の改善は行われず、奨学金を利用している多くの現役大学生や返済中の方への支援とはなっていない。この制度は「高等教育の無償化」と言うにはあまりに対象者が少なく、多くの点で改善が必要です。この後にも、委員会で質疑し、さらに改善を求めました。



議院運営委員会 筆頭理事として



齋藤議員は昨年、議院運営委員会の理事に任命され、さらに秋の臨時国会からは野党の筆頭理事となり、さらなる重責を担っています。議院運営委員会は、国会で審議を行う法律の選定や順序、委員会への振り分け、委員長などの役職の会派への割り当て、議事日程への割り当てなど、多岐にわたる内容を扱う、いわば国会運営の司令塔です。与野党間の調整を要する課題が多く、多忙を極める役割です。



参議院全体に関わる法案や同意人事なども所管し、質疑、討論、採決も行われます。会計検査院検査官の同意人事では齋藤議員が会派を代表して質疑を行いました。今国会から障害をもつ3人の議員が当選しましたが、国会内のバリアフリー推進の議論にも中心的な役割を果たしました。

経済産業委員会において、 中小企業活性化、モノづくり 産業発展などについて議論！



齋藤議員は、党の経済産業部門で副部門長を務め、所属する経済産業委員会でも積極的に質問に立っています。臨時国会で成立した「中小企業等経営強化法改正案」は、(1)災害によって中小企業の経営が困難に陥らないように、事前の対策を策定すること、(2)個人事業者の土地、建物、機械・器具備品などの承継に係る贈与税・相続税を100%納税猶予すること、(3)中小企業者などがプログラマー・エンジニア、弁護士・税理士・会計士などの社外高度人材を活用して新事業分野を開拓する計画の認定制度を創設するといふもので、中小企業の経営に資するものであることから賛成しました。

新大臣となった梶山大臣には、10月の消費税増税とともに始められたキャッシュレス化推進策について、中小企業の負担増とならないように要望しました。

この他、一般質疑では、TAG(物品貿易協定)交渉、自動車関係諸税、自動車販売に関わる消費税増税時の対策などについて質疑をしました。

中小企業等経営強化法改正案

- ▶災害によって中小企業の経営が困難に陥らないように、事前の対策を策定することを奨励し、認定された計画に対して支援措置を講じること
- ▶個人事業者の土地、建物、機械・器具備品などの承継に係る贈与税・相続税を100%納税猶予すること
- ▶中小企業者などがプログラマー・エンジニア、弁護士・税理士・会計士などの社外高度人材を活用して新事業分野を開拓する計画の認定制度を創設するもの

超党派自動車議連で 法案策定！政策推進！

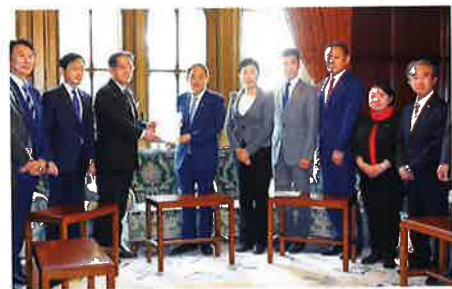


齋藤議員が役員を務める「自動車産業の未来を考える会」で、①高い自動車ユーザーの負担を軽減すること②高齢者による事故などを減少させるための諸施策の充実を目的とする法律案を策定しました。

タクシードライバー政策議員連盟で 政府に申し入れ

タクシードライバー政策議員連盟で政府(菅官房長官)に申し入れを行いました。

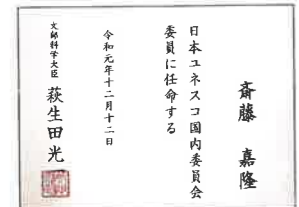
タクシードライバー業界は、近年の人手不足、労働環境改善のため各地の運輸局と運賃改定の協議をかねてから行ってきていたところ、突如、政府は消費税引き上げ分のみに限定し、運賃改定を認めない方針に転換しました。これらの不合理な措置に抗議するとともに、ライドシェアの問題などについても申し入れました。タクシードライバーさんの待遇改善を引き続きもめていきます。



日本ユネスコ国内委員に 選任されました

齋藤議員は、この度、日本ユネスコ国内委員に選任されました。ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)は国連の専門機関ですが、我が国におけるユネスコ活動に対する助言や調査審議、基本方針の策定にあたるのが、日本ユネスコ委員会です。教育・科学など各界の代表者60名で構成されており、国会議員の代表として齋藤議員が国内委員に任命されました。

今後、総会への出席や、ユネスコ活動促進と調整を図る職務を行っていくこととなります。



齋藤 嘉隆
日本ユネスコ国内委員
委員に任命する
令和元年十二月二日
齋藤 嘉隆
委員に任命する
令和元年十二月二日
齋藤 嘉隆
委員に任命する
令和元年十二月二日

スポーツ議連 スポンジレガシーPT

齋藤議員は、超党派スポーツ議連「スポーツレガシーのあり方に関するプロジェクトチーム」のメンバーです。いよいよ今年、東京オリンピック・パラリンピックの開催が近づいてくる中、この一大イベントでの盛り上がりをどのようにして次の世代の施策に繋げていくのか、他のスポーツにかかわる様々な問題をどのようにに解決していくのか、非常に難しい問題に取り組んでいます。



日本スポーツ協会、日本オリンピック委員会、日本障がい者スポーツ協会や、サッカー、ラグビー、バスケットなどの団体・協会からの要望をお聞きし、また専門家らと対話する中で、様々な検討を行っています。

新大学入学共通テスト、 民間英語試験導入延期！



20年度から始まる大学入学共通テストで活用が予定されていた民間事業者による英語試験については、以前から齋藤議員は委員会などで問題点を指摘していました。

多大な金銭的負担によって教育の機会均等が失われるおそれや、評価の公平さに対する不信、なによりも実施日時や試験会場など具体的なことが、実施2年前を切っても決まっていけないという手際の悪さが、受験生を不安にさせていました。

参議院議員選挙

7月に行われました参議院選挙では、立憲民主党が改選9議席から17議席と躍進しました。比例区ではみずおか俊一さん、愛知選挙区では田島まいこさんが見事に当選されました。多くのご支援を力に、これからは国会での政策実現のためにとも頑張ります。



統一地方選挙

4月に行われた統一地方選挙では、同じ教員出身の谷口ともみ(愛知県議会議員・昭和区)、うかい春美(名古屋市長議員・中村区)、森ともお(名古屋市長議員・熱田区)、齋藤議員の秘書として活動とともにしてきたおくむら文悟(名古屋市長議員・昭和区)の各候補に多くの方のご支援をいただき、全員がトップ当選をさせていただきました。いただいたご支援に感謝します。



齋藤嘉隆プロフィール Profile

- 1963年(昭和38年)2月生まれ
みずがめ座 A型
- 名古屋市立万場小学校
はとり中学校
菊里高校卒業
- 愛知教育大学卒業
- 名古屋市立村雲小・稲永小
新明小に勤務
- 名古屋市教育委員会指導主事
- 愛知県教員組合執行委員長
- 連合愛知副会長
- 2010年 参議院選挙愛知県選挙区で初当選
- 2016年 二期目の当選
- 参議院環境委員長、参議院経済産業委員長、党政調副会長、党税調事務局次長、男女共同参画推進本部事務局次長、県連選対委員長、スポーツ議連事務局次長などを歴任
- 現在の役職……党国会対策委員長代理
議院運営委員会 筆頭理事
経済産業委員会 委員
資源エネルギーに関する調査会 筆頭理事
愛知県自転車競技連盟会長